

2015年7月25日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市菅野2-14-14-206
Tel/fax 047-323-3640
携帯 090-6310-3294
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ
http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.83



またまた市民への負担増 無料駐輪場、家庭ごみの有料化

無料駐輪場の有料化

今年5月に「市川市自転車等駐輪場における経営手法の見直し方針案」が出されました。道路交通部駐輪・駐車施設担当室と経営改革室・経営改革課の共同提案です。市長の諮問機関である「市政戦略会議」の答申で出された、無料駐輪場・老人いこいの家の有料化、公共施設の有料化のひとつが具体化されました。

「見直し案」では、46箇所の市営駐輪場を整備運営してきたが、財政健全化に向けた取り組みを講じていく必要があると見直すというものです。市営駐輪場の収支が、1億1773万円の収入不足であり、経費は利用者が100%賄うものであり、無料の駐輪場は有料化とすること、これまでの使用料についてもコストを賄える使用料とすること、地上・地下の区分、屋根のあるなしでも使用料の差をつけてくというものです。

行徳地域では、市民の

身近な足であり、自然に

やさしく健康に役立つ自転車の無料駐輪場を有料化するべきではないと「無料駐輪場の継続を求める会」をつくり、署名活動をはじめました。かつて行徳駅は放置自転車全国ワースト2位で、市と交渉して無料の駐輪場

家庭ごみの有料化

7月4日付「広報いちかわ」に、「さらなるごみの減量・資源化について」が発表されました。検討を始める3つのプランが提案されました。

〇ごみ収集回数の削減

燃えるごみは、現在週3回の収集ですが、2回にすると提案。これによりごみを減量しようとする意識が高まら...

を確保してきた歴史があります。有料化されたら、駅近くの公園には多数の自転車があふれることが危険な状態になると、署名を呼びかけています。



〇戸別収集の導入

建物ごとに、ごみを収集する戸別収集方式を導入。高齢者のごみ出しの負担軽減になると提案。町中にご

みがあふれる印象があります。また、収集にも時間がかかるのではないのでしょうか？

〇家庭ごみの有料化

ごみを出す量に応じて、ごみ処理費用の一部を本人が負担する制度です。これまでも袋代を負担していますが、袋代+処理費用となります。県内で実施されている市は20市、未実施は17市、約6割が有料となっています。近隣の船橋市、松戸市、浦安市は未実施です。

千葉市では、26年度から家庭ごみが有料となりました。ゴミ袋に処理費用を上乘せし、45リットル10枚で360円となっています。

みなさんのご意見をお聞かせください。

市民会館の建設費 15億円に倍増

市民会館の建替えについて、昨年1月の基本構想段階と比べてほぼ倍増の15億円となる見込みです。当初、以前の市民会館すべて2割縮小する予定でしたが、基本設計でほぼ元通りの大きさに拡大したということです。しかも、座席を可動式にした326人収容の多目的ホール。旧市民会館のホールは800人収容で魅力がありました。文化会館小ホールよりも少ない収容では、何のための市民会館かわかりません。

世論が政権追い詰める

超党派市議が宣伝行動



15日の宣伝行動



18日の宣伝行動

「戦争法案」反対の声は日に日に高まっていきます。憲法学者につづいて、映画人、学者・研修者、若者たちも声をあげています。

市川市議会では、6月議会最終日に「戦争法案」に反対する意見書に14人が賛同しました。その議員たちと一緒に街頭宣伝行動が実現しました。

1回目が15日、JR本八幡駅、衆議院特別委員会で強行採決された日です。その夕方、14人中10人がマイクを握りました。統一のチラシも、短時間に用意した300枚がなくなり、追加印刷をして500枚のチラシが配布できました。

2回目が18日、作家の澤地久枝さんが呼びかけ、俳人・金子兜太さんの筆字「アベ政治を許さない」を全国で掲げるとされた日です。ここでも8人が参加し、市川市選出の県議、共産党の岡田幸子さん、民主党の守屋貴子さんも駆けつけ、マイクを握りました。

「戦争法案」は、衆議院本会議で可決され、参議院に回りました。各世論調査で不支持が支持を大きく上回り、国民の声を聞かない安倍政権を追い詰めています。

担当地域では

- ・市川松戸線ー国府台病院から大学までの自歩道の整備工事をすすめる
- ・高塚新田市川線ー菅野・国府台女子高前の交差点改良のための用地買収
- ・国分下貝線ー東国分・国分橋から曾合橋までの間、街路事業として今年度から用地買収
- ・国道14号ー市川駅前を4車線にする工事中、狭くなる中央分離帯に何を植えるかなど協議中



◆葛南土木事務所
27年度事業を聞き取り

7月9日、道路関連、河川・海岸などの27年度事業を葛南土木事務所へ岡田県議と市議団と聞き取りに行きました。

《主な活動報告 7月》

★7月12日 菅野2丁目自治会で防災訓練

親子連れなど50人が参加。市の危機管理課よりスライドをつかい説明。そのあと、菅野公民館駐車場に設置された「けおり体験」「地震体験」をし、室内ではAED訓練が行われました。



★7月15日 映画「望郷の鐘」に750人

終戦直前に満蒙開拓に渡った方々の悲劇と、中国在留孤児の救出に尽力した山本慈昭さんを描いた作品。監督さんが82歳、二度と戦争は起こしてはいけない、平和をいつまでも守りたい、そんな思いで映画を作ったとのこと。「戦争は絶対ダメ」「学校で上映し若者に見せたい」という感想もありました。

☆7月17日 新たな航空機経路について国交省で聞き取り

国交省の「新たな飛行経路案」の聞き取りを行いました。都議団の呼びかけで、経路となる区議団、住民、千葉県、神奈川県議員など50人以上が参加。小池晃、畑野君枝、吉良よし子各議員が同席参加しました。

新たな飛行経路は午後3時～7時まで、これまでの



千葉県の上空ではなく、新宿、渋谷、品川など町中の上空を飛び、川崎のコンビナート上空も飛ぶというものです。

大井町駅上空は約305mとたいへん近距離となります。「騒音、大気汚染、落下物、全盲の障害者に対する配慮」などなど質問が出ましたが、どれも国交省の回答は不十分なものでした。